



学校だより



令和6年6月28日
江戸川区立新田小学校
第4号

【学力向上に向けて】

校長 鈴木 剛司

江戸川区では、今年度から学力向上に向けて、5、6年生（4年生は2学期から）が『よむYOMUワークシート』に取り組んでいます。これは、子供たちの「読み解く力」を身に付けることをねらいとしています。『よむYOMUワークシート』は、600～800字の新聞記事に関して、3つ程度の設問で構成されています。その設問に15分程度で回答し、答え合わせ後に解説を聞いています。図や表も含めて内容をしっかりと理解すること、それだけではなく何を意図して書かれているのかも考えることが必要であり、最初は難しいと感じる児童が多いです。インターネットで『よむYOMUワークシート』と入力して検索するとサンプル問題が見られますので、ぜひ、ご覧になってみてください。

まだ始まったばかりなので、時間内に読んで回答するのが難しい児童もいます。しかし、既に取り組んだ学校では、1年間（週に1回）継続していくことで、文章を読むスピードが上がったり、要点もつかめるようになったりしたという結果につながっています。文章を読み解く力は、国語だけでなく、全ての学習に関連しています。「読み解く力」の向上を図ることで、子供たちの様々な成長につなげていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

また、その他にも4、5年生の算数では、前学年の算数定着度調査問題に取り組み、理解している問題と理解が不十分な問題を洗い出すことで、個人カルテを作成しています。この個人カルテがあることで、自分の理解が不十分な単元（小数の割り算や面積等）に焦点を当てて問題に取り組むことができるようになっています。それぞれの児童が自分の理解が不十分な内容を理解するために、ミライシードのドリルパークを使って個別学習に取り組んでいます。

新田小学校では、これらの取組を行うために、木曜日の掃除の時間（15分間）を「パワーアップタイム」として、基礎学力向上の時間に変更しました。4、5、6年生だけでなく、1、2、3年生もそれぞれに課題を設定して基礎学力の向上に向けた取組を行っています。子供たちの「できた」「分かった」につなげられるよう、今後も継続していきます。



【いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応に向けて】

江戸川区（東京）では「ふれあい月間（6月・11月・2月）」として、いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組を行っています。具体的には、子供たちへのアンケートや必要に応じた聞き取り調査、教職員の研修、いじめ防止のための授業、カウンセラーによる面接、hyper-QU（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）等を実施しています。

新田小学校では、その他にも以下のようなことを心掛けて指導に当たっています。

- ・人権教育を推進し、日頃よりいじめを許さない学級づくり、集団作りに努める。
- ・いじめは人権侵害であり、人として決して許されない行為であることを教職員全体で共有し、指導にあたる。
- ・様々な場面、学習を通して児童の社会性やコミュニケーション能力を育成する。
- ・自己有用感や自己肯定感を育成することをに努める。
- ・保護者や地域、関係機関との連携を図る。

等 「新田小学校いじめ防止基本方針」の一部引用（ホームページ掲載）

特に、今年度は「互いの個性を認め合い、自分も友達も大切にする、思いやりのある児童」の育成を目指しています。今後も子供たちの笑顔が守れるよう教職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

江戸川区立新田小学校 HP：<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/1310034>